

1月の授業記録をお送りいたします。

気づけば新年を迎えて1カ月あまりが過ぎましたが、先ごろはこちら関東地方でも4年ぶりとなる予期せぬ大雪に見舞われ、教室の窓外には白銀の世界がしばし立ち現れておりました——日本各地において記録的な寒波が続いているとは申せ、暦の上ではすでに春。ふと芳しい香りの先に視線をやれば、梅のつぼみが少しずつ膨らみ、いましばし続くであろう厳寒の中にも早春の息吹がそこかしこに感じられる今日この頃でございます。ご父母各位におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

いよいよ、「埼玉県立高校の学力検査」が目前に迫ってまいりました。受験生のお子様を持つご家庭にとりましては、言うまでもなく大変気がかりのことと存じます。が、今、受験生の各人は自身の前に立ちただかる試験に自らの力で耐え、辛い状況と切り結び、精神的自立をしていこうとしている最中でございます。ご父母各位におかれましては、ぜひお気持ちをゆったりと持って、お子様の健康管理に留意しながら、静かにその努力を見守っていただきたいと存じます。当塾といたしましても、限られた残りの時間の中講師陣一同が全身全霊でもって、1人でも多くの受験生の第1志望校合格を期し、日々指導にあたっております。

他方、**受験生以外の中学生にとっては「学期末試験」が迫っております。**今回も定期試験1週間前より各教室で連日「定期試験対策」を行っております。学年の評定を左右する重要な試験です。ぜひ積極的に教室まで足を運んでもらうようお子様にお声がけをお願いいたします。



■塾からのご案内■

●「新年度継続手続きのご案内」をお送りしました。

先日、受験生以外の各ご家庭に「新年度継続手続きのご案内」をお送りしました。そちらにもございますが、個別指導会では学校よりおよそ1ヶ月早く、**3月1日(木)から新年度を迎えることとなります。**それに伴いまして、新たに「3月分の月謝」に加え、「**新年度の上半期6ヶ月(3~8月)分の諸経費のご納入をお願いしております。**その際は、**新年度における新学年生としての費用となります**のでご注意ください。なお、お手続きは今月中にお済ませください。

🌸合格速報(私立中学・高校)🌸

【私立中学】

狭山ヶ丘付属中・城北埼玉中・日大豊山中・聖望学園中・明星中

【私立高校】

中大付属中央・明治学院東村山・錦城・狭山ヶ丘・聖望学園・拓殖大学第一・山村学園・西武台・浦和学院・秋草学園・東野・秀明英光・東洋女子・豊島学園・日大豊山・浦和実業

嬉しい合格の報告が続々と届いています。

在塾する受験生の一人ひとりが、志望校合格への意志を強くもって努力を重ねてきた結果だと思えます。おめでとうございます！来月には、県立高校受験生・大学受験生の吉報をお伝えいたします。



学習のアドバイス

前回は、「過去問をどのように活用すべきか」についてお話ししましたが、いかがでしたか。今回は県立入試まで1カ月弱となりましたので、「入試直前の勉強法」というテーマで話を進めてまいります。

まず、直前に新しい問題集や参考書を使用することは極力避けてください。新しいものに手を出してしまうと、かえって焦りが生まれてしまいます。それよりも今までに取り組んだ問題を丁寧に復習していきましょう。間違えたところをやり直して、勘違いしていたものを正し、不足していた知識を補ってください。そして計算間違いが多い、問題の読み間違いが多いなど、自分のミスの傾向を掴みましょう。今の段階で難しいと感じた問題は気にする必要はありません。入試で

は学校のテストと違ってほとんど同じ学力の人と争うわけですから、難しいと感じた問題は多分他の人もできません。

次に、科目ごとの取り組み方についてお話しします。英数国は毎日の学習の積み重ねで習得していく科目ですから、正直、短期間で急に成績が上がるものではありません。一方、理社は「知識」が解答に直結する科目ですので、短期間でも一気に得点力を伸ばすことが可能です。そこで、入試直前は英数国よりも理社に力を入れていくべきだということになりますが、あまり偏りすぎてもいけません。毎日の学習の積み重ねが大切だということは、やらないとすぐに学力が落ちてしまうということでもあります。最低でも1日15分、全教科取り組むように心掛けてください。

最後に具体的な勉強法について説明します。社会と理科についてはとにかく一問一答形式の問題演習を繰り返してください。用語を書かせる問題は選択問題よりも配点が高いですし、記述問題でそれなりの解答を作るためにもできるだけ多くの知識を身に付けましょう。もしかすると、前日にたまたま目を通した内容がそのまま出題されるかもしれません。国語・数学・英語については、出題形式がほとんど決まっていますので、出題される可能性が高い以下の単元をしっかりと確認しておいてください。

国語 … 漢字の読み書き／文法・語句の知識／作文
数学 … 計算全般／関数 $y=ax^2$ の変域・変化の割合／角度／確率／作図／証明
英語 … リスニング／語形変化／並べ替え／自由英作文



平成30年度入試の展望 ⑤

県内私立高校の入試が一段落しましたので、12月に実施された進学希望調査の結果について分析することで、平成30年度入試の展望の最終回とさせていただきます。

一般的には入試本番が近づくにつれてより現実的な進路選択にシフトしていきますので、10月の調査結果と比較したところ、普通科についてはやはり上位校の倍率は低下し下位校の倍率が上昇しています。そして普通科から希望を変更した生徒が流れてきたため、専門学科は全体的に倍率が上昇しています。また、西部地区の普通科で前年度と比較した場合、トップ校である川越と川越女子は軟化していますが、その他の学校につきましては、前年度軟化した反動からか全体的に難化傾向にあるようです。

以上のことを踏まえたうえで願書を提出する学校をご検討いただきたいのですが、複数の学科を設けている学校では、各学科で相互に第2志望を認めるところがほとんどですので、志望している学科よりも倍率が高い学科を選択しないように注意してください。

教室長日記

あなたたちの未来に寄せて



「今勉強していることって、将来本当に役に立つの？」と疑ったことのない人は、世の中に一人もいないと思います。特に、中学校で学習する内容について、「こんなこと知らなくても生きていけるのに」と思っている人も、大人でさえ少なくないでしょう。

それでも、世界の多くの国々では初等教育を受けさせる義務が法律で課せられ、そこで教えられる内容が決まっています。もちろん「生きるのに必要なことだから、勉強しなさい」ということだと結論付けて大人が言いつけるのは簡単ですが、前述の「こんなこと…」の人にとっては、「本当に必要だと思って言っているのか」と、反論の材料にしかありません。

かく言う私自身も、学校に通っていたころは「受験のために勉強し、終わったら忘れてしまっていていい」と思っていました。しかし、合格・入学した後の勉強、また社会人になってからの日常で、受験勉強した内容を土台にしないとどうしても理解できないことがたびたびあられ、おおかた忘れてしまった後なのであわてて勉強し直した、という経験をしました。学びのレベルが上がるにつれ、机上の学習以外で覚えたことで関連付け可能なことが多いことにも気付きました。

いま、将来本当に役に立つのかと思いつきながら、また受験のために勉強している皆さん、あなたたちの視野は今後、いまと比べ物にならないくらい広がっていきます。今見えていなくても、将来見えてくるものがたくさんあります。無数の「これは何だ？」に遭遇するでしょう。その謎解きのための数多いヒントを、大人たちは義務教育という形で提供しているのです。その謎解きが自分でできる人が、リーダーになっていくのです。

受験が終わり、また社会に出てからも、今勉強したことを忘れずに過ごしてください。